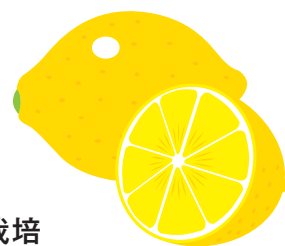


# 家庭菜園相談室

今月の  
テーマ

## レモンを育ててみよう



レモン類は、柑橘類のなかでは耐寒性が弱いですが、近年は温暖化もあり、栽培できる地域が広がりました。レモンには周年開花の習性がありますが、5月中旬～下旬ごろが開花の中心で、すばらしい香りを放つ白色の花が楽しめます。

栽培カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植え付け・植え替え			■									
肥料			■		■		■			■		
剪定			■									
開花					■		■		■			
収穫	■										■	

### 育て方ポイント

日光を好むので、庭植えの場所、鉢植えの置き場ともに日当たり良好な場所を選びましょう。

### 押さえてたい栽培のコツ

- ①水はけのよい土に植え、適度な湿度を保つ
- ②肥料は年に5回与える
- ③寒さに弱いので、防寒対策はしっかりと

**用土(鉢植え)**：市販の用土を用いる場合は、赤玉土小粒7～8、腐葉土3～2の配合土を用います。

**植え付け・植え替え**：植え付けの適期は、3月下旬から4月中旬です。植え替えは、根詰まりを防ぎ、通気をよくすることを目的に2～3年に1回行います。

**剪定**：3月から4月中旬にかけて行います。ただ枝を切り詰めるだけでなく、日当たりを配慮しての整枝が大切です。また、春に伸びた枝に翌年実をつけるため、結実させたい枝は剪定しないようにしましょう。

**摘蕾・摘果**：レモンは四季咲き性があり、5月、7月、9～11月の年3回ほど花が咲きますが、5月の花を大事にしてしっかりした実に育てます。7月以降の花は、実になっても大きくなりません。レモンは「1個の実をつけるために25枚の葉が必要」と言われています。葉をつけさせるためにも、乾燥しすぎず適度な湿度を保つ水やりをし、3～10月にかけて肥料を欠かさないようにしましょう。

また、レモンは「隔年結果」という、よく実る年と実らない年を交互に繰り返す性質があります。これを調整するには、付き過ぎた果実を小さなうちに取ってしまう「摘果」を、8月中に行います。

**収穫時期**：収穫時期は11月中旬からで、翌年1月頃までに終わらせます。12月の熟した「イエローレモン」はもちろん、11月中の熟す前の「グリーンレモン」を収穫してもよいでしょう。

**病気と害虫**：レモンの病気で最も気をつけたいのが、「かいはよう病」です。トゲや風による擦れによって実や枝に傷がつき、そこに病原菌が入って発生します。「かいはよう病」を防ぐためにも、レモンのトゲを元からカットし、果実のまわりの不要な枝も剪定するとともに、5～6月にかけて薬剤防除をするとよいでしょう。このほか、黒星病、灰色かび病などの病気も見られますので、早期のうちに薬剤を使用すると安心です。害虫は、アブラムシ、アゲハの幼虫、ミカンハモグリガ(エカキムシ)、カミキリムシなどが発生します。ミカンハモグリガは夏芽、秋芽を加害するので、幼木を早く大きくするには、この防除が欠かせません。

家庭菜園や薬剤防除等の相談は、営農経済センターのTAC(タック)までご連絡ください。